

横浜ゴム、インドの乗用車用タイヤの生産能力を拡張

横浜ゴム（株）はインドの乗用車用タイヤ生産販売会社である Yokohama India Pvt. Ltd.（ヨコハマ・インディア）の生産能力を拡張する。年産 83 万本増強し、現在の 70 万本と合わせて年産 153 万本まで引き上げる。インドの自動車市場の成長に伴いタイヤ販売が好調であり、中期的に不足すると見込まれるため生産能力の増強を決めた。投資額は 38 億ルピー（約 66 億円）で、2018 年 3 月から拡張工事を開始し 2019 年第 4 四半期から稼働する予定。

ヨコハマ・インディアはインドにおけるタイヤ販売を目的に 2007 年 4 月に設立、2014 年 7 月からはハリアナ州バハドゥールガール工業団地に建設したタイヤ工場で乗用車用ラジアルタイヤの生産を開始した。今回拡張する工場では乗用車用タイヤや SUV 用タイヤなどの補修用タイヤに加え、現地の自動車メーカー向けの新車装着（OE）用タイヤの生産を計画している。

■ヨコハマ・インディアの概要

代表者：森 睦成

本社所在地：ハリアナ州グルグラム

設立：2007 年 4 月

工場所在地：ハリアナ州バハドゥールガール工業団地

工場敷地面積：約 10 万 m²（約 25 エーカー）

操業開始：2014 年 7 月

生產品目：補修用の乗用車用タイヤ

生産能力：現在 70 万本／年、拡張後 153 万本／年（2019 年第 4 四半期以降を計画）

従業員数：474 名（2017 年 12 月現在）



ヨコハマ・インディア

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：赤池
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570